

平成28年11月18日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 公明党

代 表 増崎 俊宏



会派の（調査研究・研修）報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成 28 年 10月 19日（水）～ 平成 28 年 10月 20日（木） 1泊 2日
2 調査研究または 研修の場所	① 10月19日（水）静岡県静岡市グラシップ大ホール・海 ② 10月20日（木）同上
3 調査研究事項 または研修名	第11回全国市議会議長会 研究フォーラム
4 参加者氏名 （ 2 名）	増崎 俊宏 田中 千代子
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車を使用した場合は、必ず自家用車使用報告書を添付してください。



【概 要】

■基調講演

「二元代表制と議会の監視機能」

大森 彌（わたる）氏

〔東京大学名誉教授〕



■パネルディスカッション 「監視権の活用による議会改革」

◇コーディネーター

江藤 俊昭 氏（山梨学院大学大学院研究科長・教授）

◇パネリスト

齋藤 誠 氏（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

土山 希美枝 氏（龍谷大学政策学部政策学科教授）

谷 隆徳 氏（日本経済新聞編集委員兼論説委員）

栗田 裕之 氏（静岡市議会議長）

■課題討議 「監視権を如何に行使すべきか」

◇コーディネーター

佐々木信夫 氏（中央大学経済学部教授）

◇事例報告者

佐賀 和樹 氏（藤沢市議会前副議長）

井上 直樹 氏（和歌山市議会議運委員長）

島崎 健二 氏（日田市議会議長）



【感想等】

大森氏の基調講演では、議会の役割を果たすために「チーム議会」の実現が必要。議会としての合議体を作っていくには、与野党の意識ではなく対話・調整・集約のための議員間討議が不可欠。先進市として大津市議会

が紹介された。

パネルディスカッションでは、メディアからみた議会の意見として、議会本条例が登場して10年になるが、議会の監視機能はあまり変わっていないのではないかという点や、専決処分にしないために通年議会にするべきだと思うという話もあった。また、予算や条例案の「素通り」議会が多いなど厳しい指摘もあった。

今回のテーマは、地方議会の課題や模索しながら進めている議会改革、基本条例、二元代表の役割など、聞きたい内容であった。パネラーの意見では、具体的な取り組みの紹介や先進事例の紹介もあり、多くを学ぶことができた研修であった。

特に、「チーム議会」は当市でも課題は多いが、議会の機能を高めていくためには大事な視点であり、そのためには一人の議会人としての意思決定や、討論の場を作っていくことなど、取り組むべき必要性を感じた。

資料添付

